

審 議 結 果

会 議 名	第4回盛人大学運営委員会
開 催 日 時	令和6年5月22日（水） 10時00分から11時30分
開 催 場 所	川口市立かわぐち市民パートナーステーション会議室1・2
出 席 者	松本委員長、仲川副委員長 高川委員、相京委員、瀬切委員、石阪委員、豊田委員 堀江次長、二瓶課長補佐、坂田主査、宮田主任、石井主事
議 題	1 開会 2 議事 （1）報告事項 ア 令和5年度卒業式での団体活動発表について （2）協議事項 ア 新コースの検討について 3 その他 4 閉会
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
会 議 資 料	資料1 令和5年度盛人大学卒業生集計結果 資料2 盛人大学卒業式での団体活動発表およびブース出展団体一覧 資料3 令和5年度盛人大学卒業式終了後の活動内容周知に関するアンケート 資料4 新コースの検討について 別 添 かわぐち市民パートナーステーション登録団体のご紹介

審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

審 議 経 過

1 開会（10時00分）

委員長 挨拶

事務局 本日の出席状況を報告。（委員数9名のところ、出席委員数7名）

議 長 議事録署名人を指名。

事務局 本日の傍聴希望者なしの報告。

2 議事

（1）報告事項 ア 令和5年度卒業式での団体活動発表について

議 長 「議事（1）報告事項 ア 令和5年度卒業式での団体活動発表について」事務局に説明を求める。

事務局 資料1・2・3に基づき説明する。

委 員 登録団体から、団体活動発表の機会が設けられたことに前向きな感想をいただいた。ブース出展は卒業式会場の周囲2箇所の通路で実施されたが、2箇所のブース見学者の数に差が見られた。次年度は、人の流れを工夫し、団体との交流がさらに増やせるような形を考えるとよいと感じた。

事務局 卒業式後、卒業生がブースの前を通るような動線にしたが、片方の通路は少し狭く、混雑していた。交流が難しい様子であったが、ブースには団体活動の掲示などもされていた。今年度以降も同様に実施する予定だが、昨年度の反省を踏まえて検討していきたい。

委 員 大変良い事業だ。動線は難しいところがあるかもしれないが、アンケートの設問7に「得られた成果」として「団体の会員が増えた」という記述があり、実施する意味のある事業と感じた。設問8では、「登録団体のご紹介の冊子を卒業式の前に見る機会があるとよい」という意見がある。事前に冊子を見ておくと、団体活動紹介により興味持っていただけ。次回以降の参考にしていただくとよい。

委 員 発表を希望したが落選した団体もあったようだ。次年度の抽選で同じ団体の発表が続かないよう検討されているか。

事務局 今回発表を希望しながら落選された団体もある。今年度の抽選方法や発表団体数、発表時間等についてはまた検討させていただきたい。

委 員 前向きな意見が多いので、登録団体にさらに周知を行い、今年度、より多くの団体に参加していただけるよう促していただきたい。

- 委員 参加人数が増えた時に会場の収容人数は大丈夫か。
- 事務局 フレンドシアでの卒業式式典会場の周囲にブースを設けて、式典終了後、ブース見学や交流をしていただくが、スペースとブースの数を考える必要がある。どのような形が最適なのかは今後検討していきたい。
- 委員 今年度は盛人大学の定員が増えた。式典の出席人数によるが、例えば式典会場のサイド側を利用することもできるだろう。

(2) 協議事項 ア 新コースの検討について

- 議長 「(2) 協議事項 ア 新コースの検討について」事務局に説明を求める。
- 事務局 資料4に基づき説明する。
- 委員 盛人大学を卒業した者を中心として講座の運営に関わっていただいているが、新コースは経験者、卒業生等がまだいないため、盛人大学卒業生関係の方がどのように新コースに関わっていくのか。「一般社団法人大人の小学校」が講師をして、運営は盛人大学関係者が行うと大学の趣旨に沿った形になると思う。運営方法について具体的に検討されているか。
- 事務局 一般社団法人大人の小学校さんは講師を引き受けてくれるが、スタッフの募集については検討中である。実行委員会の皆さんやスタッフの方、ボランティア等を広く募っていきたくと考えている。
- 委員 パソコン講座は民間にもあり、場合によっては民業圧迫と捉えられかねない。受講料を行政が安くできるのであれば民間とどこが違うのか。行政が実施する講座と民間が実施する講座との運営方法や内容の違い、行政が実施する意味など、民間との差別化を図ることが可能か。
- 事務局 まず、パソコンに関連する講座内容やレベル、対象者についてだが、盛人大学のパソコン講座を希望する方は、初級者の方が多いと想定している。中級・上級を希望の方は、民間の講座を選ばれると考える。また、パソコンの講座を受講された後、例えば社会貢献団体を自分で立ち上げる場合に、チラシを作成できるような技術を身に付けることを目指していただければと思う。ニーズがあれば上級クラスを設定することを考えていきたい。
- 委員 これから社会貢献活動をするにあたって、基礎的なスキルを学ぶ、単純に自分の利益のためというよりは、やはりその将来に繋がる支援をするという内容だ。
- 委員 以前、盛人大学でパソコン講座を実施したことがある。盛人大学を立ち上げた「NPO法人輝け盛人」という団体が、約10数年前に、初級

者向けの、旅行や募集などのパンフレットを作成する内容だ。実際、1～2人の参加者だった。

委員 前回の会議で、スマートフォン講座なども話題になったと思うが、今回、パソコンに関連する講座に至った経緯、何か他の案が出たのであれば、教えてほしい。

事務局 方向性として、IT系の講座を作りたいというところから、パソコンやスマートフォンが候補にあがった。「大人の小学校」はスマートフォンの講座も実施しているので、まずはパソコンから始めて、スマートフォンの講座のニーズがあれば、将来的に検討も可能だと考える。高齢者のスマートフォン講座を見たことがあるが、機種によって使用方法が様々で、支援が難しいという印象がある。「大人の小学校」は既に団体で実施しているので、まずはパソコンに関連する講座を優先して進めた上で、スマートフォンについても検討していきたいと考えている。

委員 パソコンを持参するというアイデアだが、初心者の方でパソコンを持っていない方もいると思うが、何か対策があるか。

事務局 パソコンを盛人大学で用意するという事も検討したが、費用が高額であり、受講料に反映すると、公平性に欠ける部分も出てくる。学んだことを自宅で復習していただくことを考えると、自分のパソコンを持参いただくほうがよいと思う。

議長 今後の方向性として、パソコンに関連する講座を検討していくということで、詳細については次回以降の会議において検討させていただきたい。

(異議なし)

3 その他

議長 今回の委員の任期については、令和6年5月27日までである。2年間本当にありがとうございました。

4 閉会（11時30分）

会議の内容については、以上のとおりです。

令和6年5月22日

盛人大学運営委員会委員長

（松本委員長署名）

盛人大学運営委員会委員

(豊田委員署名)
